

第1回 第6次江津市総合振興計画後期基本計画策定審議会 配布資料



第 1 回 第6次江津市総合振興計画後期基本計画策定審議会

日時：令和6年5月14日（水）
午前9時30分～午前12時00分
場所：本庁舎 会議室3-1・3-2

1. 市長挨拶
2. 会長選任
3. 会長挨拶
4. 出席者紹介
5. 議事
 - (1) 令和6年度の進め方【資料1】 令和5年度 of 取組の紹介【資料2】
 - (2) 各委員からの話題提供
(取組紹介、市への提言（計画への期待等）)
 - (3) 意見交換
6. 閉会

【資料 1】 令和 6 年度の進め方

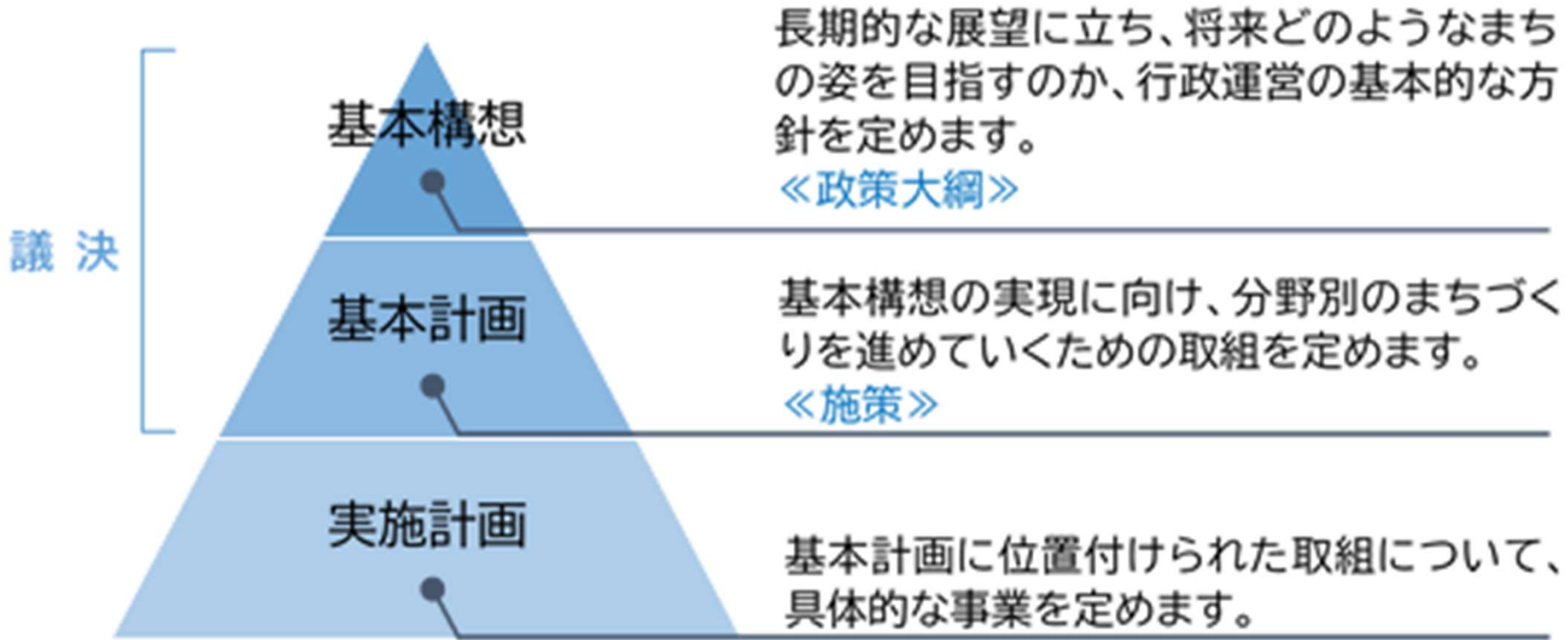
●第6次江津市総合振興計画の概要

- ・第6次江津市総合振興計画では、地域課題に対し本市の特性や地域資源を活かしながら、協働のまちづくりをさらに推進し、本計画においてめざすべき将来像を描くとともに、その実現を図るための基本的な市政運営の指針として定めるものである。その中でも、人口減少対策として取り組む事業を「重点プロジェクト（総合戦略）」として位置づけ、推進している。

【計画期間】

- ・第6次江津市総合振興計画：2020年度～2029年度の10年間（前期：5年、後期：5年）
- ・重点プロジェクト：2020年度～2024年度の5年間

●総合振興計画（総合計画）の一般的な階層



●R6年度の全体スケジュール

検討事項		R6年度																																					
		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月				
計画・戦略	後期基本計画	○ 有識者		● 骨子										● たたき台		○ 有識者				● 素案								● 原案							● 公表				
	次期総合戦略	ヒアリング		● 骨子									● たたき台			ヒアリング				● 素案								● 原案	アクションプラン作成 (非公表)										● 公表
	人口ビジョン			● 修正案																								● 原案							● 公表				
市民参画	市民アンケート調査	調査票設計			調査物件作成			実査期間			集計・分析【基礎】			集計・分析【応用】																									
	住民自治組織合同会議								① ●	適宜個別ヒアリングを実施																											② ●		
	子育て世代ワークショップ	企画・準備、参加者集め					1回開催			とりまとめ																													
	高校2年生ワークショップ	企画・準備		各高校3回開催（3校×3回）										とりまとめ																									
	パブリックコメント																											庁内照会			●	修正期間							
各種検討会	庁内WG（若手）								① ●					② ●													③ ●												
	庁内WG（幹部）									① ●						② ●										③ ●													
	審議会 総合振興計画			① ●									② ●				③ ●									④ ●							⑤ ●						
	審議会 総合戦略			① ●																													② ●						
庁内調整	首長ヒアリング													① ●															② ●										
	関係各課調整													後期基本計画に記載する施策・取組チェック																									

●第6次江津市総合振興計画後期基本計画策定審議会の進め方（案）

・第6次江津市総合計画後期基本計画策定審議会の進め方について、以下を想定（今後調整）。

	目的	議題
1回目	・ R6年度の進め方の共有 ・ 委員からの江津市への提言を確認	①今後の進め方と現状認識 ②委員からの話題提供 ③意見交換会（フリーディスカッション）
2回目	・ 市民・職員の江津市への想いを共有 ・ 後期基本計画（次期総合戦略含む）の施策体系案の共有	①前回審議会の振り返り ②市民・職員の江津市への想い ・ 市民参画、庁内WGの結果・進捗紹介 ③後期基本計画のたたき台 ④次期総合戦略のたたき台 ⑤今後の進め方
3回目	・ 後期基本計画（次期総合戦略含む）の素案の共有 ・ 総合振興計画の実効性の高め方を検討	①前回審議会の振り返り ②後期基本計画の素案 ③次期総合戦略の素案 ④総合振興計画の実効性の高め方 ⑤意見交換会（特定テーマ） ⑥今後の進め方
4回目	・ 後期基本計画（次期総合戦略含む）の原案の共有 ・ 次期総合戦略の推進方法を検討	①前回審議会の振り返り ②後期基本計画の原案 ③次期総合戦略の原案 ④次期総合戦略の推進方法 ⑤意見交換会（特定テーマ） ⑥今後の進め方
5回目	・ R6年度審議会の総括 ・ R7年度以降の体制を検討	①前回審議会の振り返り ②パブリックコメントの結果報告 ③次期総合戦略の推進方法 ④R7年度以降の進め方

● 市内ワーキンググループ（若手・幹部）の進め方（案）

- ・ 市内ワーキンググループ（若手・幹部）の進め方について、以下を想定（今後調整）。
- ・ ①総合戦略の詳細化・共有、②職員の自分事化、③起業家マインドの開発、④変化を生み出すことが目的。

	若手市内WG	幹部市内WG
1回目	目的：気づき、ゆらぎを与える ワーク①：2050年時の江津市を想像する 意図：時間軸を広げて現状への危機感、計画の意義を感じて頂く ワーク②：計画の理想のあり方、意見出し	目的：目線合わせ、目標設定 ワーク①：市全体の理想の状態を議論（市内、地域、市民目線） ※R5年度若手市内WGで実施した内容 ワーク②：計画の理想のあり方、意見出し
2回目	目的：目指したい姿、目標に目を向ける ワーク①：理想の状態を言語化する 意図：理想の状態から組織として変えるべきことを議論 ワーク②：理想の状態に近づくために提案したい施策を洗い出し	目的：理想状態の共通認識化、手段の提案 ワーク①：理想の状態を言語化する 意図：理想の状態から組織として変えるべきことを議論 ワーク②：理想の状態に近づくために提案したい施策を洗い出し
3回目	【幹部・若手合同市内WGの開催】 目的：役職・所属関係なく未来に向けた意見交換会を実施 ワーク①：2回目で考えた施策案をグループ内で提案、壁打ち ※担当課関係なく、自分で実現したいことを提案頂く ワーク②：グループシャッフルして意見交換 ※若手がファシリテーターを担当	

【資料 2】 令和 5 年度の取組の紹介

● 市内ワーキンググループ（若手）の結果概要

- ・ 計画・戦略策定の手法を学びつつ、既存施策の評価、ターゲット設定による新規施策の立案等を実施。
- ・ この他にも、創造力特区の実現に向けた市内課題を把握するため、組織体制等についても見つめ直しを実施。

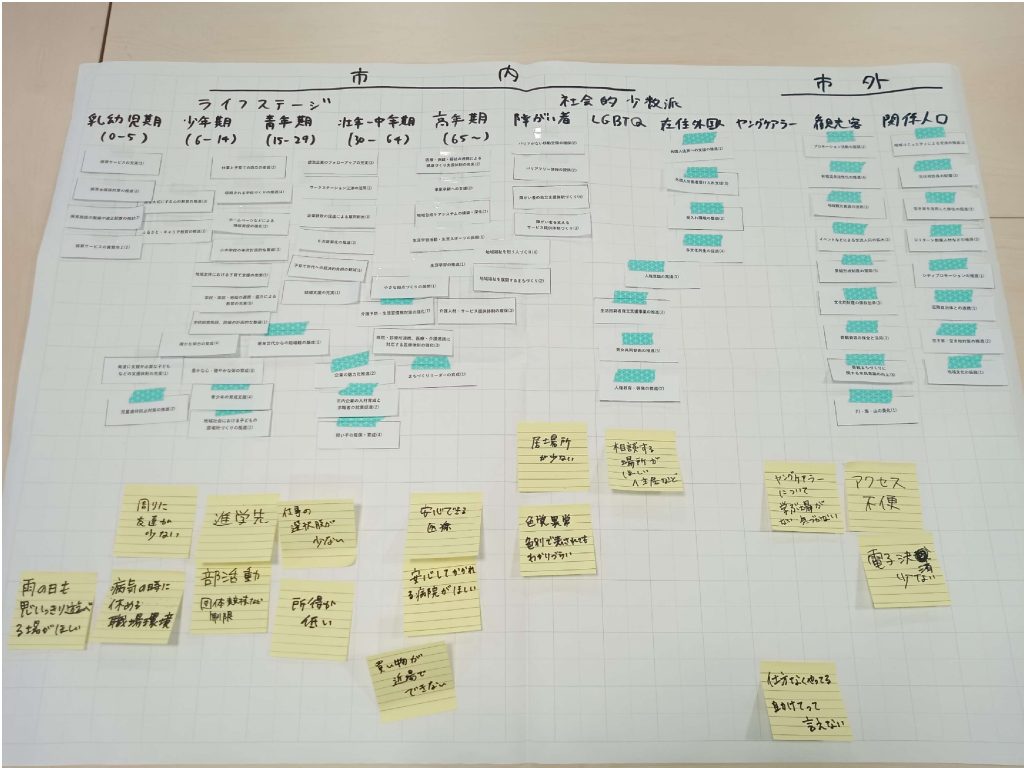
【第2回ワーキンググループ】

ステップ1

第6次江津市総合振興計画に位置付けられる
既存施策をターゲット別に対応付け

ステップ2

全体を俯瞰して、既存施策が不足する
ターゲット/既存施策が充実するターゲットを議論



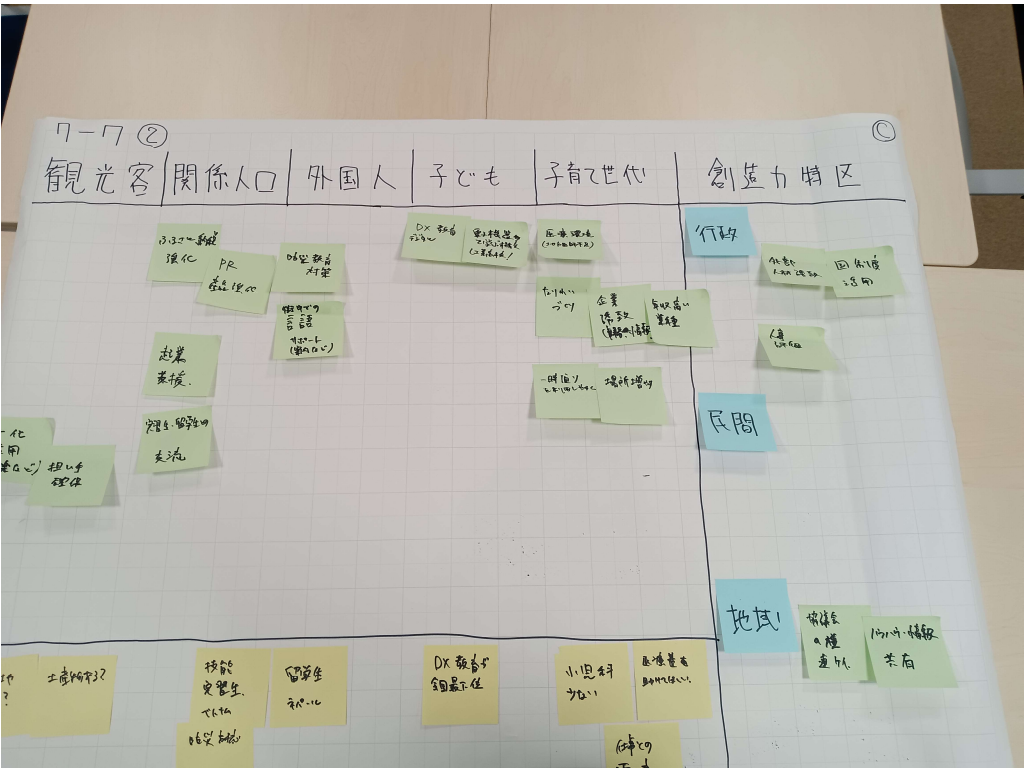
【第3回ワーキンググループ】

ステップ3

既存施策が不足するターゲットの
状態・心理を考えてみる

ステップ4

既存施策が不足するターゲットの状態・心理を
踏まえ、新規施策等を考える



●地域コミュニティ組織へのヒアリング結果概要

- ・江津市では平成28年に市内全て20地区において、地域コミュニティ組織を発足している。
- ・各地区のキーマン（会長等）にヒアリングしたところ、大きく4つのタイプのキーマンが存在する。
- ・義務感から地域に関わっている方も一定数存在し、その背景として「担い手不足」という課題が存在する。

●地域づくりを使命と想っている方

（コメントの例示）

- ・公民館長をしていたが、教育施策に制約があったため、子どものための場所が欲しく、組織を立ち上げた

●地域貢献をしたいと想っている方

（コメントの例示）

- ・地域に育ててもらったという想いがあり、地域にその恩返しをしたい

●キャリアを活かした活動をしたいと思っている方

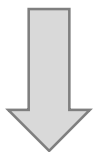
（コメントの例示）

- ・元教員で、体育協会にも関わっていたため、その延長線上で地域に関わっている

●義務感から地域に関わっている方

（コメントの例示）

- ・前任者が組織を立ち上げたが、後継者がいなかったため、自身が引き受けた



各地区（キーマン）のタイプに応じ、適切な支援を検討（事業立ち上げ、ノウハウ共有、人材確保等）

●首長インタビューの結果概要

首長インタビュー概要

- 実施日時：2024/2/19（月）13:00～15:00
- 参加者：中村市長、無川課長、佐々木主任 さとゆめ俣野、河内、横山
- 内容：これまでの進捗共有、論点提示、ディスカッション

市長からのご意見サマリ

●市の理想像について

人口減少は一定しょうがない課題だが、なるべく維持していきたい。
その中で江津市らしい特色を出しながら施策を行っていききたい。歴史・文化もあるし、ゼロカーボン、スマートシティなどは近隣と比べて先行している。江津市らしさが最後は人を呼ぶことにつながると思う。

●創造力特区について

職員が失敗を恐れずどんどんアイディアを出して動いてもらいたい。せっかく知見があり、様々な年代の職員がいるのに、市長がトップですべてを決めるのは良くない。
全員が自由に考えて動けるのが理想。

●後期基本計画・総合戦略について

【理想状態について】

- ・小学校の統廃合については校区が遠くても地域のポテンシャルがあれば人は減らないケースもある

【モデル地区事業について】

- ・地域によっても様々なので、やる気のある地域から実践してみるのは良い、周りが呼応していくとなおよい

【子育て支援について】

- ・校区を広くしても地域とのつながりを持って交流を生めると外に流れないと思う
- ・経済的支援ももちろん大事だが、子供が少ないからこそできる「体験」を提供したい

【DX施策について】

- ・遅れていたけどだいぶ進んできた、もう少し推進していきたいという危機感がある

（現）計画前半期間の目次構成

第1部 序論

第1章 計画の概要

1. 計画策定の主旨

2. 計画の構成と期間

3. 計画の検証及び推進

第2章 江津市の概況

第3章 本市を取り巻く時代の潮流

第4章 まちづくりの主要課題と今後の視点

1. 市民アンケートなどからみる取り組みの評価

2. 今後のまちづくりの視点

第2部 基本構想

第1章 将来像

1. まちづくりのスローガン

2. まちづくりの将来像

3. 目標人口

第2章 計画の大綱

1. 計画の体系

2. 基本目標と基本方針

3. 重点プロジェクト（江津市版総合戦略）

第3部 基本計画

第1章

基本目標1 産業と自然が調和した新たなにぎわいを生み出すまちづくり

基本方針1・・・

基本方針2・・・

第2章

基本目標2 豊かな暮らしを支えるやすらぎのまちづくり

基本方針3・・・

基本方針4・・・

第3章

基本目標3 いきいきとした人づくり・地域づくり

基本方針5・・・

基本方針6・・・

第4部 重点プロジェクト（第2期江津市版総合戦略）

第5部 資料編

基本構想は必要最低限
の追記・修正



（新）計画後半期間の目次構成（たたき台）

第1部 序論

第1章 計画の概要

1. 計画策定の主旨

2. 計画の構成と期間 ←首長任期との整合を図るか要議論

3. 計画の検証及び推進 ←効率的・効果的な行政評価システム

4. 計画の実行方針 ←マクロ視点・ミクロ視点の考え方

5. 計画の運用方針 ←庁内部で計画をどう使っていくか

第2章 江津市の概況 ←データ更新

第3章 本市を取り巻く時代の潮流 ←内容更新

第4章 まちづくりの主要課題と今後の視点 ←内容更新

1. 市民アンケートなどからみる取り組みの評価

2. 今後のまちづくりの視点

第2部 基本構想

第1章 将来像

1. まちづくりのスローガン

2. まちづくりの将来像

3. 目標人口 ←データ更新

第2章 計画の大綱

1. 計画の体系 ←後期基本計画の内容に更新

2. ロジックモデルの構築 ←アウトプット及びアウトカムの整理

3. 基本目標と基本方針

4. 重点プロジェクト（江津市版総合戦略） ←次期総合戦略更新

第3部 基本計画

第1章 計画前半期間の評価 ←施策レベルの定性的な評価

第2章 計画後半期間の基本計画

1. 新たに盛り込む視点

2. 基本目標ごとの施策

基本目標1・・・（基本方針→施策の流れ） ←存続/廃止/新規

基本目標2・・・（基本方針→施策の流れ） ←存続/廃止/新規

基本目標3・・・（基本方針→施策の流れ） ←存続/廃止/新規

3. 基本目標を横断する施策

スマートシティ施策（デジタルの観点） ←既存+α

人起点（仮称）施策（人材確保の観点） ←新規

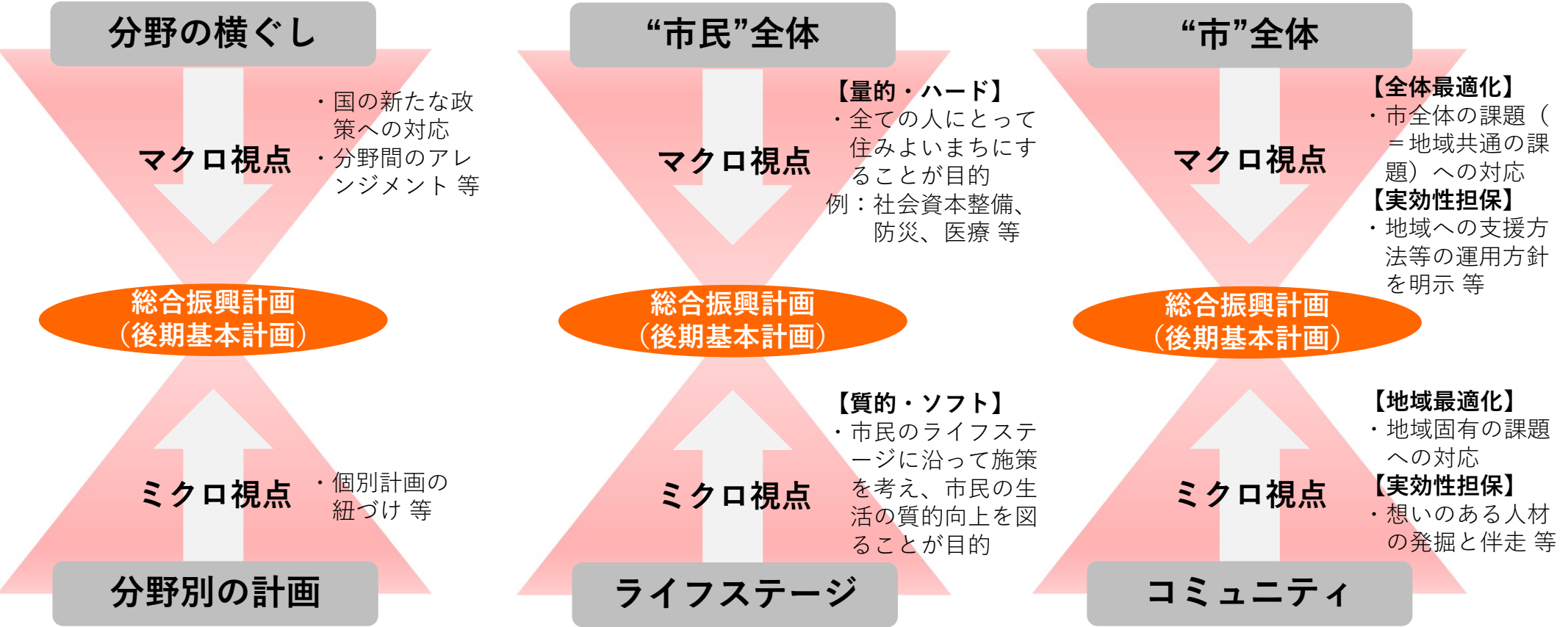
官民連携施策（PPP・PFI） ←新規

シティプロモーション施策 ←新規

第4部 重点プロジェクト（第2期江津市版総合戦略） ←次期総合戦略更新

第5部 資料編

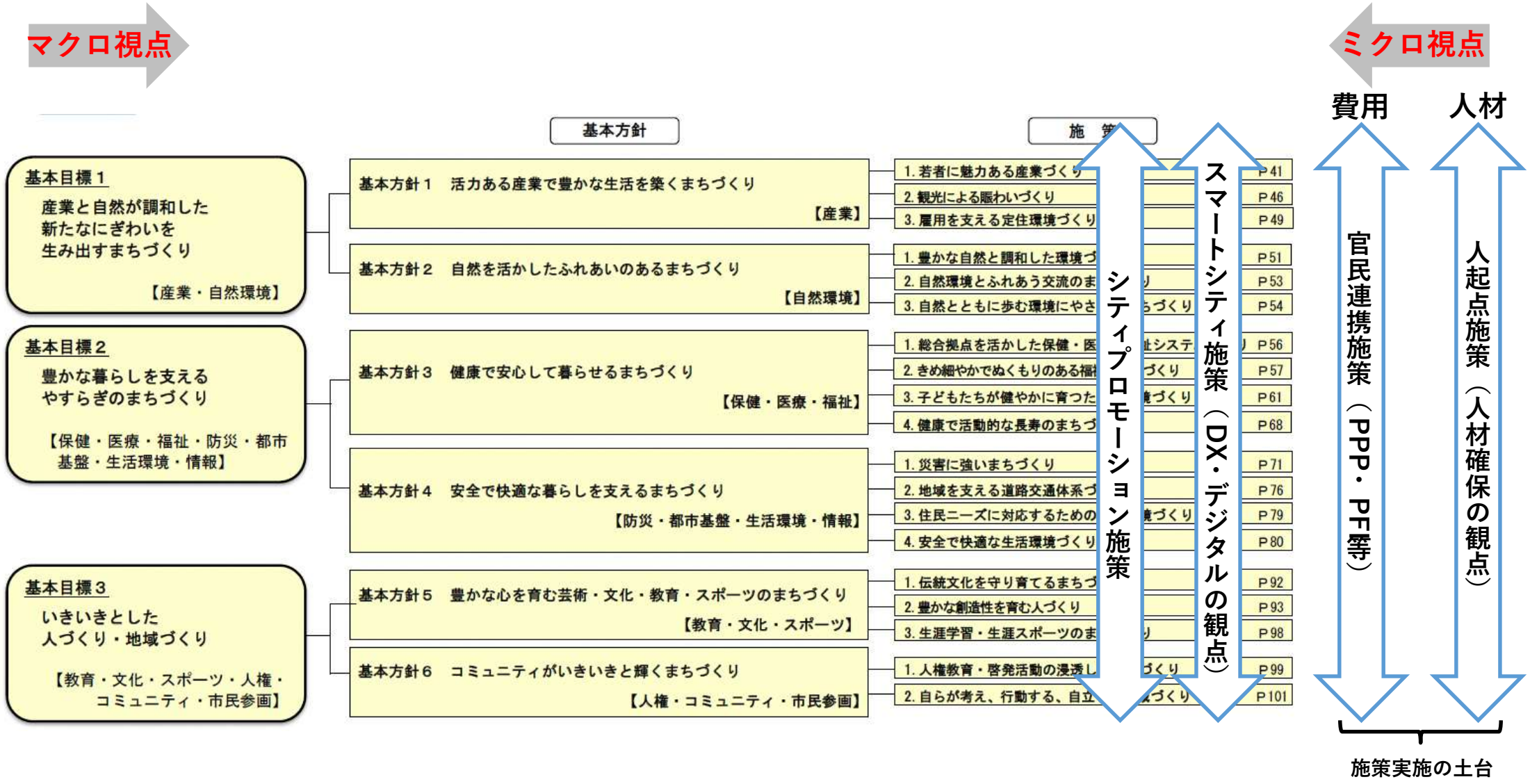
・地域コミュニティ組織へのヒアリング結果や庁内WG（若手）の結果を踏まえ、マクロ視点とミクロ視点の考え方を整理し、後期基本計画への位置付けを検討。



- ・ 庁内部における総合振興計画の運用方針（使い方）を総合振興計画に位置付けることを検討。
- ・ これにより、総合振興計画の実効性が高まるものと思料。

行政からみた課題	対応（計画への位置付け）の例示	意義
・ 公平性の観点から、特定地区への支援がそもそも難しい	・ モデル地区の設定による重点支援、その成果の他地区への横展開	・ 行政計画に位置付ける施策・事業の特定地区への展開が行いやすい
・ 庁内各課からみて、総合振興計画との接点が持ちづらい	・ 総合振興計画に位置付ける施策と予算要望の連動（例えば、重点PJを対象に毎年関係各課が事業計画を立案）	・ 庁内各課の職員の計画の自分事化につながら、事業の継続性も期待
・ 行政だけでは計画のマネジメント、国の新たな政策動向への対応が人的に難しい	・ 行政の政策立案を支援する中間支援的組織との連携（事業計画策定支援、中間評価、最新情報提供、勉強会等）	・ 官民連携施策の一種であり、行政負担の軽減が期待される
・ 地区計画と総合振興計画の連携が図られていない	・ 20地区（住民自治組織）合同会議との連携（進捗報告等）	・ ミクロ視点の実効性が担保される
・ 若者世代のニーズをくみ取れない、巻き込みが難しい	・ 教育機関との連携（小学校、中学校、高校の総合探究との連携等）	・ 次世代を担う江津市の人材自ら施策に関わることが可能となる

・ 地域コミュニティ組織及び中間支援組織へのヒアリング結果や庁内WG（若手）の結果を踏まえ、①人起点施策（人材確保の観点）、②官民連携施策（PPP・PFI等）、③スマートシティ施策（DX・デジタルの観点）、③シティプロモーション施策を新たに位置づけることを検討。



（現）現行総合戦略の目次構成

- 第1章 人口減少対策・地方創生の基本的な考え方
1. 人口ビジョンを踏まえた中長期展望（2040年を視野）

（1）めざす将来の姿

（2）めざす人口

（3）人口減少対策により維持する地域経済
2. 現状と課題を踏まえた人口減少対策の基本的な方針
- 第2章 施策の方向性
1. 基本目標

基本目標1 多様な生業と魅力ある雇用があるまち

【取組の方向性】・【重点施策】・【数値目標】※以下、同様

基本目標2 住みたい！自分を活かせる場所があるまち

基本目標3 子どもたちの未来を地域みんなで育むまち

基本目標4 住み慣れた地域で安心して暮らせるまち
2. 基本施策と具体的な取り組み

基本目標1 多様な生業と魅力ある雇用があるまち

基本施策（1）・・・・・・・・

【現状・課題】・【取組の方向性】・【具体的な事業等】※以下、同様

基本目標2 住みたい！自分を活かせる場所があるまち

基本目標3 子どもたちの未来を地域みんなで育むまち

基本目標4 住み慣れた地域で安心して暮らせるまち



（新）次期総合戦略の目次構成案

- 第1章 人口減少対策・地方創生の基本的な考え方
1. 人口ビジョンを踏まえた中長期展望（2050年を視野）

（1）めざす将来の姿とコンセプト ※創造力特区はコンセプトの位置付け

（2）めざす人口 ※地区別の目標人口も整理

（3）人口減少対策によるアウトカム ※なぜ目標人口を目指すのかを整理
2. 人口減少対策の基本的な方針

（1）課題解決型アプローチ ※現状・課題等分析で対応

（2）未来創造型アプローチ ※高校生ワークショップで対応
3. 施策の実施と施策の成果の関係性 ※数値目標とKPI指標の関係性
- 第2章 施策の方向性
1. 基本目標

基本目標1 多様な生業と魅力ある雇用があるまち

【取組の方向性】・【重点施策】・【数値目標】※以下、同様

基本目標2 住みたい！自分を活かせる場所があるまち

基本目標3 子どもたちの未来を地域みんなで育むまち

基本目標4 住み慣れた地域で安心して暮らせるまち

基本目標5 DX・デジタルの基盤整備（仮称）
2. 基本施策と具体的な取り組み

基本目標1 多様な生業と魅力ある雇用があるまち

基本施策（1）・・・・・・・・

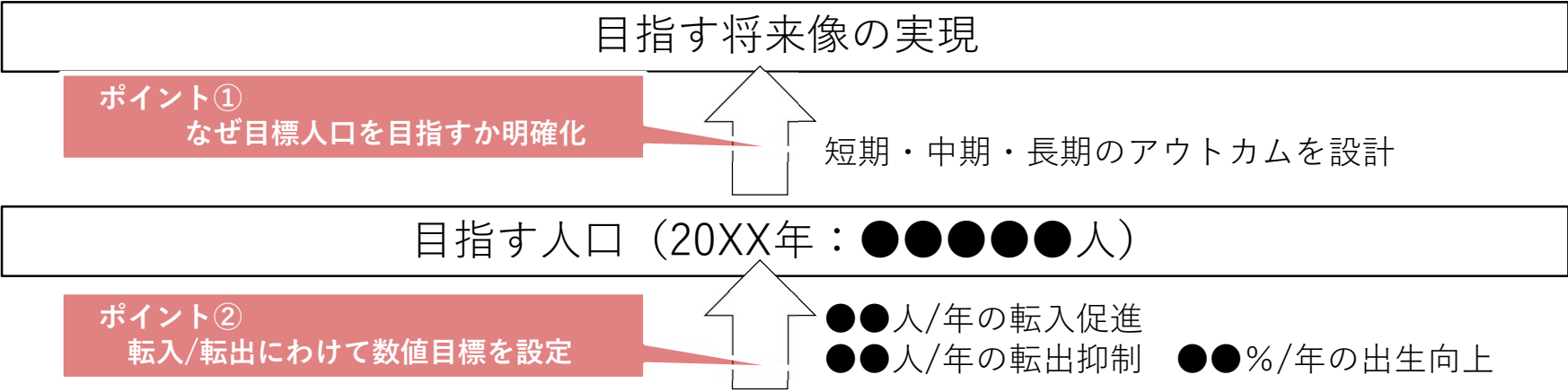
【現状・課題】・【取組の方向性】・【具体的な事業等】※以下、同様

基本目標2 住みたい！自分を活かせる場所があるまち

基本目標3 子どもたちの未来を地域みんなで育むまち

基本目標4 住み慣れた地域で安心して暮らせるまち

基本目標5 DX・デジタルの基盤整備（仮称）

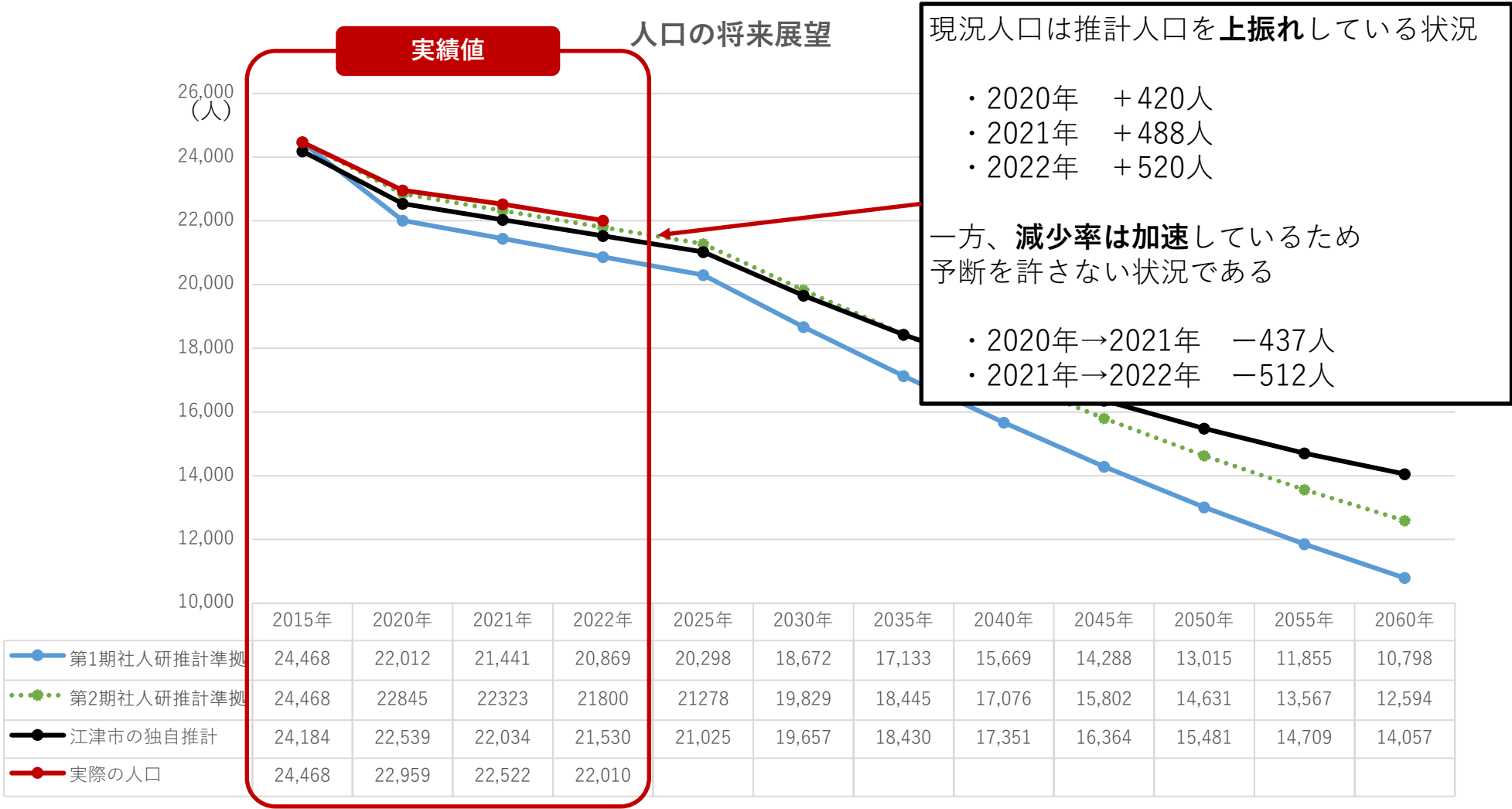


	基本目標 1	基本目標 2	基本目標 3	基本目標 4	基本目標 5
コンセプト	基本目標を貫く共通指針＝創造力特区（挑戦する、応援する、生きる力） ※次世代を担う子どもたちにも創造力特区について考えてもらう機会を設ける				
テーマ	多様な生業と魅力 ある雇用があるま	住みたい！自分を 活かせる場所があ	子供たちの未来を 地域みんなで育む	住み慣れた地域で 安心して暮らせる	DX・デジタルの 基盤整備（仮称）
キャッチコピー	ポイント③ 市民・地域も巻き込みながら、具体の取組内容を検討 各目標ごとの印象に残りやすいコピーを思案				
検討方針	創造力特区の考え が最も強いため、 コンセプトからの 逆算で検討 等	次世代を担う高校 生の施策・事業ア イディアも踏まえ 検討 等	子育て世代の施 策・事業アイディ アも踏まえ検討 等	住民自治組織が策 定する地域づくり 計画との整合を図 る 等	庁内ワーキンググ ループにおける意 見を参考に検討 等
人口変動への寄与 （数値目標への寄与）	転入促進	転出抑制 （若者世代）	出生向上	転出抑制 （現役世代）	---
施策・事業への寄与 （KPI指標への寄与）	ポイント⑤ 施策が寄与する具体的な人物像とその理想の状態の設定	---	---	---	効率化
ペルソナの設定	企業・移住者 の理想の姿	若者の理想の姿	子どもや子育て世 代の理想の姿	コミュニティの 理想の状態	デジタル実装後の 住民の状態

【参考資料】

●江津市における人口の将来展望

- ・江津市の現況人口を算出すると、江津市推計およびほか推計より**約400～500名上振れ**している状況である。
- ・一方、年々の自然減、社会減数が増えているため今後の取り組みが重要であると言える。



資料：第6次江津市総合振興計画「人口の将来展望」より抜粋、実績人口（実際の人口）は総務省国勢調査（2020年）、住民基本台帳（2021年・2022年）を活用
注1：江津市の独自推計は5か年のため2020年、2025年推計値から直線補完にて算出
注2：2021年2022年現況人口は2020年国勢調査から社会減増、自然減増を反映し算出

●新たな時代の潮流を踏まえた基本方針

- ・新たな時代の潮流が基本方針レベルに与える影響は以下のとおり。
- ・今後、個別計画も踏まえながら、後期基本計画における施策レベルの見直しを図っていく。

基本目標	基本方針	新たな時代の潮流	
基本目標 1 産業と自然が調和した新たなにぎわいを生み出すまちづくり	基本方針 1 活力ある産業で豊かな生活を築くまちづくり	②人口減少社会における経済成長 ・官民連携イノベーションの重視 ・サプライチェーンの強靱化 ・インバウンド拡大 ・外国からの高度人材の受け入れ ・人手不足による労働者の賃上げの重要性 ・多様な働き方（副業、転職）の広まり ④持続可能な社会への変化の可能性 ・関係人口の増加、多様なライフスタイル、地域への人材還流	③デジタル社会化 ・DX、WEB3.0、トークン利活用、スマートシティ/スーパーシティ ⑤心身豊かな暮らしの必要性 ・新型コロナウイルス感染症拡大への対応
	基本方針 2 自然を活かしたふれあいのあるまちづくり	④持続可能な社会への変化の可能性 ・GX、カーボンニュートラル、省エネルギー	
基本目標 2 豊かな暮らしを支えるやすらぎのまちづくり	基本方針 3 健康で安心して暮らせるまちづくり	①人口減少、少子・超高齢社会 ・子育て世帯の負担増加	
	基本方針 4 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり	③デジタル社会化 ・交通DX、Maas ⑤心身豊かな暮らしの必要性 ・防災・減災、国土強靱化 ・ライフライン強靱化 ・高齢者運転対策	
基本目標 3 いきいきとした人づくり・地域づくり	基本方針 5 豊かな心をはぐくむ芸術・文化・教育・スポーツのまちづくり	③デジタル社会化 ・GIGAスクール構想	
	基本方針 6 コミュニティがいきいきと輝くまちづくり	⑤心身豊かな暮らしの必要性 ・共助社会づくり、孤独孤立対策 ・サイバーセキュリティ、犯罪の多様化	